

「日本は大きなひとつの森」プロジェクト
山と連携し都市に第二の森をつくるプロジェクトへ
是非ご参加ください。

国産間伐材と最新技術を用いた木の窓を中心としたお話です。また、これは地域行政と建築家及び関連企業が連携し、CO2固定化を推進するプロジェクトでもあります。今回は、建築関係のみならず、高断熱な窓のお話に加え、さらに環境に対する影響が少ない改修技術のお話も加え、その事例等を環境先進国ドイツでの建築事情や製品開発の背景とともにご案内する学習会を開催します。

近年、木材は環境にやさしい材料として評価が高まり、学校や病院等、各種施設へのより一層の利用拡大が期待されるようになってきています。特に地場産の木材は、輸入木材に比べ輸送中に使われるエネルギーが小さいことから、より環境にやさしい材料と言われています。さらに、人工林から産出される間伐材は非常に効率的にCO2を固定することから、これからの環境の時代には最も利用が期待されています。

つまり、間伐材をふんだんに利用した製品の作る空間は、CO2を固定した第二の森になります。また、伐採した後地に新たな植林を行うことで、一層のCO2固定・大きなサイクルでの循環を図ることができます。これは、金属やプラスチック等の材料では出来ない、木材だけが持つ大きな特徴です。

私どもでは、これまで経済産業の地域新生コンソーシアム研究開発事業において、国産間伐材を用い、窓と外壁を同時に改修する、「開口部一体型省エネ外断熱システムの開発」を進めてきました。

このような断熱改修工事は、環境先進国ドイツやスウェーデン等で発達しており、これに我が国独自の条件(豊富な日射量・風等の気候条件、地震等)を考慮し、製品開発を進めてまいりましたので、ここに紹介させていただきます。また今回は、ケルン在住の建築家、小室氏にも加わっていただき、ドイツでの改修を取り巻く社会事情、それに対する国の積極的な支援制度、および改修の具体的な取り組み事例等をご紹介いただき、林業・木材産業の果たす役割や木材の利用方法、特に窓を中心とした断熱改修方法について、建築家各位に対し議論の場を設けたいと思います。

詳細は下記の通りです。多数のご参加、お待ちしております。

主催	飯田ウッドワークシステム株式会社
日時	平成20年7月27日(日) 13:00(受付開始)、13:30(開始)～15:30(終了)
場所	郵便番号760-0056 香川県高松市中新町12-1 徳寿ビル5階会議室
プログラム	■一級建築士事務所エネクスレイン 小室大輔 <環境先進国ドイツにおける改修に関する支援制度及びその具体的な事例> ■飯田ウッドワークシステム(株)代表取締役 飯田信男 <地域間伐材の利用が可能な、断熱改修システムの紹介。窓と外壁を一体的に改修>
参加募集人数	20名
お申し込み ・お問合せ	FAX 087-822-1483/E-MAIL sinrincafe@yahoo.co.jp 上記までお名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、お申し込みください。また、お問合せは下記セミナー運営事務局までお願いいたします。
セミナー運営 事務局	(株)ボーセジュール企画部 コンパスローズ (協力 made in KAGAWA) 090-4336-3104(栗生) / 090-1320-6471(谷)